

福祉用具を活用しやすい環境を目指して

～4Sの取り組みと合わせて、福祉用具を活用しやすい環境へ～

特別養護老人ホーム
第2グレイスフル春日井
内門 利真

施設紹介



第2グレイスフル春日井
Since 2002.9～
春日井市牛山町3195-1

介護老人福祉施設
長期入居 100名
短期入居 12名
グループホーム
生活支援ハウス
ヘルパーステーション
地域包括支援センター



施設紹介(第2グレイスフル春日井)

特別養護老人ホーム
(100床)

1ユニット10名~12名



5階 4階 3階 2階 1階	百合ユニット	牡丹ユニット	芍薬ユニット
	金盞花ユニット	菖蒲ユニット	水仙ユニット
	桔梗ユニット	杜若ユニット	福寿草ユニット
	鈴蘭ユニット (ショートステイ)	グループホーム	生活支援ハウス
	事務所 ホームヘルパーステーション		

施設紹介(第2グレイスフル春日井)

ノーリフティングアンケート
(2020年より)全職員

ノーリフティング研修
一般研修or基礎研修
年間最低1名以上受講
各階1名以上修了者配置



5階 4階 3階 2階 1階	百合ユニット	牡丹ユニット	芍薬ユニット
	金盞花ユニット	菖蒲ユニット	水仙ユニット
	桔梗ユニット	杜若ユニット	福寿草ユニット
	鈴蘭ユニット (ショートステイ)	グループホーム	生活支援ハウス
	事務所 ホームヘルパーステーション		

平均介護度3.87

施設紹介(第2グレイスフル春日井)



福祉用具は必要不可欠



福祉用具整備状況

床走行リフト 計5台

スタンディングリフト計3台

スライディングボード 1ユニット1枚ずつ配備

スライディングシート1ユニット2枚配備(平均)

マルチグローブ 1ユニット2ペア(平均)

移乗用フレキシボード 各階1枚ずつ

リショーンPlus 事業所内計5台



【課題整理】

【福祉用具の管理方法の検討】

福祉用具の整備状況は十分

道具はあっても
活用が進んでいない・・・。



【課題整理】

なかなか進まないのに変えられるのか？

→ まずはモデルユニットを設定
小単位から波及を目指す



【課題整理】

特別養護老人ホーム
(100床)
1ユニット10名～12名

5階	百合ユニット	牡丹ユニット	芍薬ユニット
4階	金盞花ユニット	菖蒲ユニット	水仙ユニット
3階	桔梗ユニット	杜若ユニット	福寿草ユニット
2階	鈴蘭ユニット (ショートステイ)	グループホーム	生活支援ハウス

2ユニットの
モデルユニットを設定

【課題整理】

課題① 環境面

課題② 教育面

【課題①】

福祉用具の活用が進んでいない



活用しやすい環境となっているか



【課題①】～管理方法～

福祉用具の管理方法の検討

配置場所が固定されていない

- 使用の都度居室に置きっぱなしに
- どこに置いたか分からなくなる
- 使用場面で探すことに・・・



管理方法【取り組み】

福祉用具の管理

元々4S意識が課題・・・

物の位置が決まっていない

4Sが定着しない

呼びかけや定位置ルールの仕組みを進めていた

→ **福祉用具にも適用**

もう少しキレイにしていきたい



管理方法【取り組み】

ねらい

- ①移動動線の短縮
- ②保管場所の明確化

活用を進める！

移動動線の短縮



居室が食堂を囲んだ作りのため
この辺りに置くと動きやすい

移動動線の短縮

スライディングシートや移乗ボードは対象利用者様居室に置きっぱなし



排泄用具
管理場所

★ 移乗ボード使用者

移動動線の短縮

排泄介助時に必要な福祉用具(体位交換)

→スライディングシート・マルチグローブ

排泄用物品バッグと一緒に携帯



排泄備品バッグにイン！

移動動線の短縮



シートはポーチに携帯！



マルチグローブも携帯できます



保管場所の明確化

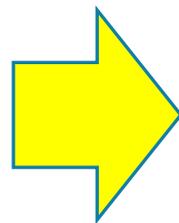


目印でマーキング

保管場所を固定

保管場所の明確化

目印でマーキング



保管場所の明確化



★ 移乗ボード使用者

「物を取りに行く」
「探す」

簡素化

福祉用具を使いやすく

【課題②】

考えの浸透がされていない
重要性を分かっていない



そもそも
「いつ」「誰」から教わるのか

【課題②】教育方法

職員の入職時は・・・

【入社後研修】

集合形式でノーリフティング
についての研修を実施



【課題②】教育方法

法人として、ノーリフティングについての教育の場は設定。その後は各施設へ委ねられる

当施設では？

教育方法～施設内～

集合研修後は、各ユニットで教育

教育方法は
ユニットによって異なる



入職時の教育(施設内ではどうするか?)

元々ノーリフティングに限らず

大まかな職員に対する教育項目は各ユニットに任せていた

→

入職時、

「誰が」「何を」「どのタイミングで」

教えていくのかを見える化

教育方法

【チェックリストを作成】

現場OJTの中で実施	1週目	リテラシー					
		守秘義務				所属長・OJT担当	
		残務申請書	提出方法・注意点等	残務申請書記入例		OJT担当	
		インターネットの使用	フロアでのネットアクセスは禁止	27001教育		所属長・OJT担当	
		ハンディ端末の使用				所属長・OJT担当	
	2週目	食事伝票の出し方	どのようなケースで使用するかも説明			OJT担当	
		介護記録の入力方法		リスクマネジメント(記録の必要性)		所属長・OJT担当	
		事故報告	事故報告の入力方法の説明・注意点			所属長・OJT担当	
		福祉用具の使用	ボード・リフト・スタンディングマシン			所属長・OJT担当	
		ボディメカニクスについて	未経験者であれば説明			所属長・OJT担当	
	3週目	ケアプランについての説明	ケアプランを基に利用者様の対応を行っている。			所属長・OJT担当	
		ノーリフティング	福祉用具の説明・使用方法			所属長・OJT担当	
		つぶやき・ヒヤリハット	お風呂の場所 つぶやき→小さな意見から苦情等に 繋がらない様 ヒヤリ→事故に繋がらないように			所属長・OJT担当	
		事故報告・TEL報告	出来ない約束はしない、表現の注意等	ご家族への報告ルール		ユニットリーダー	
		居室担当について	居室担当としての役割			ユニットリーダー	
4週目	施設ルール・体制について	身元引受人へ説明している内容	重要書類説明書				
	看取りについて	終末期の環境整備、囲わり方、ABC等			ユニットリーダー		
	看護職員との教育項目確認	別紙			ユニットリーダー・看護職員		

↑教育終了後は右下↑の印鑑を押して介護長に提出↑して下さい。↑

いつ

何を教えるのか

何を使用し

誰が

教育方法

【マニュアル作成】



手順で分かりにくいものは
写真付きのものを作成

取り組みの結果(福祉用具の活用状況)

取組後、モデルユニットはどうなったのか

「**ワーキング推進に関するアンケート**」

氏名 _____

該当する項目に、記入もしくは○で囲んで下さい。〃
○今回福祉用具の活用推進の取り組みにおいて福祉用具の活用がしやすくなったかどうか〃
お答えください〃

A しやすくなった B しにくくなった〃

A または B となった理由〃

(_____)

〃

〃

○福祉用具推進の取り組みにおいて特に効果があったと思うものを教えて下さい〃

〃

1 OJT計画表〃
2 スライディングシート マルチグロブの携帯〃
3 福祉用具(器具)の場所固定〃

〃

○ OJT計画表について〃

A 活用しやすい B 活用しにくい〃

〃

○その他、福祉用具やそれを推進していく上で購入してはどうか?と思うものがあれば〃
記載して下さい〃

(_____)

〃

〃

アンケートを実施

福祉用具の活用結果

「福祉用具が活用しやすくなったか」

5名中3名 → 「活用できていない」

取組後

3名中3名

活用しやすくなった



取り組みの結果(計画表導入)

「福祉用具が活用しやすくなったか」

取組後

4名中4名

活用しやすい



今後の課題

○今回の改善は施設内でも一部。モデルユニットの取り組みを施設内の会議で共有し広げていく

○より継続的な改善のため、活用環境、教育に加え、関心を高めていく。

最後に



法人

進化

施設

個人

御静聴ありがとうございました